



## 2021年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月5日

上場会社名 川口化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4361 URL http://www.kawachem.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田秀行  
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 荻野幹雄 (TEL) 048-222-5171  
 四半期報告書提出予定日 2021年7月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年11月期第2四半期の連結業績(2020年12月1日~2021年5月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第2四半期	3,882	15.2	269	222.9	273	226.7	195	209.5
2020年11月期第2四半期	3,370	△9.5	83	177.5	83	166.3	63	208.8

(注) 包括利益 2021年11月期第2四半期 219百万円( 312.0%) 2020年11月期第2四半期 53百万円( 769.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第2四半期	160.30	—
2020年11月期第2四半期	51.79	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年11月期第2四半期	7,573	2,155	28.5
2020年11月期	7,189	1,972	27.4

(参考) 自己資本 2021年11月期第2四半期 2,155百万円 2020年11月期 1,972百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2021年11月期	—	0.00			
2021年11月期(予想)			—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年11月期の連結業績予想(2020年12月1日~2021年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,650	15.4	350	332.7	350	322.1	260	338.1	213.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 — 社 除外 — 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年11月期 2 Q	1,220,000株	2020年11月期	1,220,000株
② 期末自己株式数	2021年11月期 2 Q	2,217株	2020年11月期	2,217株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年11月期 2 Q	1,217,783株	2020年11月期 2 Q	1,217,783株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、依然として緊張状態にある米中関係による影響が懸念される中、新型コロナウイルス感染症の影響により減速していた世界経済は、早期に経済活動を再開した中国では景気回復が継続しているほか、米国もワクチン接種ペースの加速や追加景気対策の効果により経済活動の再開が進んだことを受け、回復傾向となりました。

国内経済は、個人消費関連業種で一部停滞がみられるものの、輸出の持ち直しの動きが見られるなど、全体として景気は緩やかな回復が持続しています。当社グループに関係の深い自動車産業においては、早期に新型コロナウイルス感染症の拡大を抑えた中国では、生産台数が前年同期を上回る状態が続いています。日本国内においても生産台数が回復傾向にありましたが、2021年に入り世界的な半導体不足により一部自動車生産工場の操業が停止し生産台数への影響が発生いたしました。

このような環境の中、当社グループにおきましては、市場における需要変動への安定供給を積極的に進めるとともに、受託合成品並びに品質・技術に優位性を持つ医療用ゴム用途製品、医療用途脱水縮合剤の製造販売に注力し、成長分野での市場拡大に努めました。

一方、生産においては、原料の安定調達に注力し、生産と在庫の最適化によるコストダウンと経営資源の効率化を、販売・開発・製造のそれぞれの部門で進めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3億8,200百万円（前年同期比15.2%増）、営業利益は2億6,900百万円（同22.9%増）、経常利益は2億7,300百万円（同22.6.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億9,500百万円（同20.9.5%増）となりました。

セグメント業績の概況は次のとおりであります。

#### ① 化学工業薬品事業

売上高は3億8,600百万円（同15.3%増）、セグメント利益（営業利益）は2億5,400百万円（同27.2.8%増）となりました。

#### ② 不動産賃貸事業

売上高は1,800百万円（同0.4%減）、セグメント利益（営業利益）は1,500百万円（同0.6%減）となりました。

（化学工業薬品事業の部門別の概況）

#### <ゴム薬品>

国内の工業用品向け薬品は国内自動車生産及び販売、海外市況の回復、更には顧客需要動向への積極的な供給対応を行った結果、自動車関連産業の世界的な半導体不足による減産影響が懸念されましたが、当第2四半期では大きな影響はなく国内全体では前年同期を上回る売上となりました。タイヤ向け薬品は、輸出向けタイヤ生産及び国内自動車生産の回復により顧客の稼働が回復しましたが、激しい海外品との競合が継続し前年同期並みの売上となりました。合成ゴム向け薬品は、国内自動車生産、国内タイヤ生産の回復により全体では売上が前年同期を上回りました。

海外向けは、新型コロナウイルス感染症の影響から早期に経済回復した中国市場への大幅な増販をはじめ、東南アジア諸国での自動車生産の回復基調が鮮明となりました。

加えて、国内、海外ともに流通在庫を従前より手厚くする傾向が見られ順調な受注を獲得し売上が前年同期を上回りました。

この結果、国内・輸出合わせてのゴム薬品の売上高は2億3,600百万円（前年同期比22.5%増）となりました。

#### <樹脂薬品>

国内向けは主要顧客であるアクリル酸・アクリル酸エステルの生産が低調に推移、受託合成品の需要も低調に推移しました。このような中、当社主要製品において顧客要望への積極的対応の結果、売上は前年同期を上回りました。

海外向けは、当社主要製品の販売が回復し更には電子材料関連への積極的な拡販活動を展開した結果、売上は前年同期を上回りました。

この結果、樹脂薬品部門合計の売上高は3億7,700百万円（同5.9%増）となりました。

### <中間体>

界面活性剤中間体は主要品目の需要が回復したことにより売上は前年同期を上回りました。染顔料中間体は主要品目の販売が低調で、売上は前年同期を下回りました。農薬中間体は主要品目の当期における販売が低調に推移し、売上は前年同期を下回りました。医薬中間体は国内、海外向け共に顧客要望への積極的な対応の結果、販売増となり売上は前年同期を上回りました。

この結果、中間体部門合計の売上は5億80百万円（同30.5%増）となりました。

### <その他>

環境用薬剤は需要が堅調に推移したことから、売上は前年同期を上回りました。潤滑油向けは需要低迷により売上が前年同期を下回りました。新規用途向けは一部製品において販売を伸ばしましたが当第2四半期における各製品の顧客からの需要が低調に推移し、売上が前年同期を下回りました。

この結果、この部門合計の売上高は5億44百万円（同12.6%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産につきましては75億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億84百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が2億11百万円、受取手形及び売掛金が2億7百万円増加したことに対し、有形固定資産が58百万円減少したことによります。

負債につきましては54億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億1百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が2億93百万円増加したことに対し、長期借入金が36百万円、退職給付に係る負債が39百万円減少したことによります。

純資産につきましては21億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億82百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が1億58百万円、その他有価証券評価差額金が13百万円増加したことによります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2億11百万円増加（前年同期は2億78百万円の増加）し、10億94百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、仕入債務の増加等による資金の増加に対し、売上債権の増加、たな卸資産の増加、未払消費税等の減少等による資金の減少により3億87百万円の収入（前年同期は2億9百万円の収入）となりました。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、有形固定資産の取得による支出等により1億9百万円の支出（前年同期は1億46百万円の支出）となりました。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、長期借入金の返済による支出、配当金の支払等により77百万円の支出（前年同期は2億18百万円の収入）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月期の連結業績予想につきましては、2021年5月28日に公表いたしました連結業績予想数値からの変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	882,857	1,094,583
受取手形及び売掛金	2,237,611	2,445,207
商品及び製品	797,063	812,055
仕掛品	347,841	365,161
原材料及び貯蔵品	264,985	282,161
その他	40,973	15,766
貸倒引当金	△3,803	△4,156
流動資産合計	4,567,529	5,010,780
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	1,195,158	1,132,684
その他(純額)	1,173,327	1,176,861
有形固定資産合計	2,368,486	2,309,545
無形固定資産		
その他	16,130	15,496
無形固定資産合計	16,130	15,496
投資その他の資産		
その他	239,441	239,049
貸倒引当金	△2,324	△1,150
投資その他の資産合計	237,117	237,899
固定資産合計	2,621,734	2,562,941
資産合計	7,189,263	7,573,721
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	883,844	1,177,513
短期借入金	1,960,000	1,960,000
1年内返済予定の長期借入金	73,316	73,316
未払金	261,409	268,070
未払法人税等	9,473	77,890
未払消費税等	97,695	34,623
役員賞与引当金	7,500	6,000
その他	185,339	151,397
流動負債合計	3,478,578	3,748,811
固定負債		
長期借入金	1,153,335	1,116,677
役員退職慰労引当金	108,467	120,140
退職給付に係る負債	341,648	302,545
その他	134,753	130,267
固定負債合計	1,738,204	1,669,630
負債合計	5,216,782	5,418,441

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	58,437	58,437
利益剰余金	1,283,724	1,442,401
自己株式	△7,749	△7,749
株主資本合計	1,944,413	2,103,089
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,793	36,401
為替換算調整勘定	5,273	15,788
その他の包括利益累計額合計	28,067	52,189
純資産合計	1,972,480	2,155,279
負債純資産合計	7,189,263	7,573,721

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年12月1日 至2021年5月31日)
売上高	3,370,640	3,882,808
売上原価	2,731,568	3,043,241
売上総利益	639,072	839,566
販売費及び一般管理費	555,465	569,631
営業利益	83,606	269,934
営業外収益		
受取利息	311	393
受取配当金	1,126	734
貸倒引当金戻入額	539	—
為替差益	—	6,797
受取保険金	5,836	1,064
受取手数料	1,000	—
その他	4,093	3,438
営業外収益合計	12,906	12,429
営業外費用		
支払利息	8,283	8,690
貸倒引当金繰入額	100	—
為替差損	4,141	—
その他	337	353
営業外費用合計	12,862	9,043
経常利益	83,650	273,321
特別利益		
国庫補助金等収入	5,570	1,720
特別利益合計	5,570	1,720
特別損失		
固定資産除却損	3,455	2,352
特別損失合計	3,455	2,352
税金等調整前四半期純利益	85,764	272,688
法人税、住民税及び事業税	26,098	68,460
法人税等調整額	△3,408	9,017
法人税等合計	22,690	77,478
四半期純利益	63,073	195,210
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	63,073	195,210

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	63,073	195,210
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,468	13,607
為替換算調整勘定	△3,374	10,514
その他の包括利益合計	△9,843	24,122
四半期包括利益	53,230	219,332
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,230	219,332
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	85,764	272,688
減価償却費	199,801	186,484
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△439	△821
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	18,651	△39,103
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,500	△1,500
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,968	11,673
受取利息及び受取配当金	△1,437	△1,128
為替差損益 (△は益)	2	△152
支払利息及び社債利息	8,283	8,690
固定資産除却損	3,455	2,352
売上債権の増減額 (△は増加)	316,887	△207,596
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△191,300	△49,487
仕入債務の増減額 (△は減少)	△165,555	293,669
未払消費税等の増減額 (△は減少)	35,808	△63,072
その他	△78,751	△13,995
小計	231,640	398,701
利息及び配当金の受取額	1,437	1,128
利息の支払額	△8,226	△8,667
法人税等の支払額	△14,912	△3,355
営業活動によるキャッシュ・フロー	209,939	387,806
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△146,598	△119,884
無形固定資産の取得による支出	—	△2,200
貸付金の回収による収入	—	8,000
その他	70	4,982
投資活動によるキャッシュ・フロー	△146,527	△109,102
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△37,804	△36,658
リース債務の返済による支出	△7,602	△4,699
自己株式の取得による支出	△3	—
配当金の支払額	△36,205	△36,287
財務活動によるキャッシュ・フロー	218,384	△77,645
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,377	10,666
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	278,419	211,726
現金及び現金同等物の期首残高	397,320	882,857
現金及び現金同等物の四半期末残高	675,740	1,094,583

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)
前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,351,558	19,081	3,370,640	—	3,370,640
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,351,558	19,081	3,370,640	—	3,370,640
セグメント利益	68,329	15,277	83,606	—	83,606

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,863,812	18,995	3,882,808	—	3,882,808
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,863,812	18,995	3,882,808	—	3,882,808
セグメント利益	254,743	15,191	269,934	—	269,934

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。